

新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究
分担研究報告書

新型コロナウイルス感染症に伴う健康診断等の受診控えに関するアンケート調査

研究分担者：武藤繁貴 聖隷健康診断センター・医務部・所長
研究協力者：池田孝行 聖隷予防検診センター 事務長

研究要旨：新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えについて、当事業部が所轄する健診施設の来訪者にアンケート調査を実施、ワクチン接種行動と過去の健診受診歴の関連性や、職業・性差等による受診控えの実態、受診行動につながるサービスについて横断的に調査・分析を行った。

回答が得られたのは435名であった。

- ① 「どのようなサービスがあれば、より健康診断や人間ドックを受診しやすいと考えるか」の回答は「滞在時間が短い」「対面でしっかり検査の結果が聞ける」が多く、「オンラインで予約が取れる」「結果説明や保健指導がオンラインで受けられる」があわせて2割弱の回答となった。
- ② 職業の有無と性差による受診歴の関連では、女性かつ勤めていない層が「定期的を受診している」と「2020年度受診した」に大きな差があることが分かった。この層は基本的に企業・健保の健診助成対象外となる層であり、本人の意思による任意での受診となることから、自己判断による受診控えが多く生じたと考えられる。また、受診しなかった理由として約半数が「仕事や家事が忙しくて時間が取れない」「定期的に病院を受診している」と回答していることから、がん検診・健診は不要不急ではないことや、病院受診とスクリーニングとしての健診の違いの説明、自宅で簡便に検査可能な郵送検診等の導入も検討の余地があると考えられる。
- ③ 「より受診しやすいサービス」への回答では、「結果説明や保健指導がオンラインで受けられる」「対面でしっかり検査の結果を聞くことが出来る」を選択した層に年齢による大きな差がなかったことから、オンラインおよび対面での結果説明のニーズは年齢を問わないことが示唆された。
- ④ 受診に関わる滞在時間は短くしたいが、結果は対面でしっかり聞きたいとの回答が年齢を問わず多く、総じて自分に生じる手間は少なくしたいが享受するサービスは手厚くしてほしいという利用者心理が浮かび上がる結果となった。このことから、新たなサービスの構築の際は、オンライン一択ではなく対面・非対面コミュニケーション双方の利益・不利益を勘案していく必要が示唆される結果となった。
- ⑤ 新型コロナワクチン接種に対し「積極的に接種したい」「どちらかという接種したい」の回答が約7割を占めた。健診の定期受診について「定期的を受診している」と回答した方が多かったが、2020年度は「受診していない」が多い結果となった。また、定期的に健診を受診していない層と比較し、定期的に健診を受診している層の方がワクチン接種に積極的であることが示唆された結果となった。

A. 研究目的

2019年12月武漢市から発生した新型コロナウイルス感染症は2021年度も拡大傾向が続き、その結果全国的に健康診断等の受診控えが発生した^{1,2)}。受診控えの理由はこれまで様々な調査において報告がなされているが、受診控えの理由、過去の受診歴との関連性や性別・職業等による受診控え実態、受診行動につながるサービスについて詳細に調査・分析した報告は我々の知る限り見当たらない。

そこで本研究では、当事業部が所轄する健診施設の来訪者に対し新型コロナウイルス感染症に伴う健康診断等の受診控えに関するアンケート調査を実施した。さらに、ワクチン接種行動と健診受診行動との関係も明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

1. 研究デザイン

断面研究・記述疫学研究

質問紙法を用い、属性に関して1項目、ワクチン接種に1項目、健診受診歴に4項目、今後希望するサービスに2項目の計8項目構成とした。【資料1】

質問紙は了承を得られた対象者へ手渡しし、館内にて記入の後、窓口にて回収とした。

2. 対象

2021年10月22日～2022年1月31日の期間に聖隷予防検診センターに来訪し、アンケート協力に了承した435名を対象とした。

3. データ解析

回答データは各項目について単純集計を行い、過去の受診歴とワクチン接種行動との関連性、職業の有無や性差による受診行動の相違、受診行動につながるサービス等の実態について分析を行った。

4. 倫理的配慮

本研究は、聖隷福祉事業団保健事業部倫理委員会の承認を得て行った。

C. 結果

期間内で回答が得られたのは435名であり一部無記入がある場合もすべて有効回答とした。

① 対象者の属性

回答者の属性について男性48.0%、女性50.6%、無回答が1.4%であった。【表1】年齢は「60～69歳(27.1%)」が最も多く、次いで「70歳以上(17.7%)」「29歳以下(15.6%)」の順となり、職業は「会社員(40.5%)」が最も多く、次いで「特に勤めていない(34.0%)」「自営業(9.0%)」の順となった。【表2・3】

② コロナワクチン接種の意思

新型コロナウイルスワクチン接種については「積極的に接種したい(25.3%)」「どちらかという接種したい(44.6%)」で約7割を占めた。【表4】また男女別で比較した場合、男性の方が「積極的に接種したい」「どちらかという接種したい」を選択する率が高値となった。

③ 定期的な健康診断受診状況・受診控え理由

過去の健康診断の受診歴では、「定期的に受診していた(52.9%)」と回答した方が「受診していない(45.5%)」を上回った。【表5】2020年度の受診の有無については「受診していない(54.9%)」が「受診した(42.8%)」を上回り【表6】、「受診した」と回答した方への質問では「例年通りの時期に受診した(83.9%)」が「時期をずらして受診した(11.3%)」を上回った。【表7】受診しなかった理由は「仕事や家事が忙しく時間が取れなかったから(53件)」が最も高く、「定期的に病院に受診しているから(38件)」「出来るだけ外出を控えたいから(28件)」の順となった。【表8】

また、また健診の定期受診について、「定期的に受診している」と回答した層は「受診していない」と回答した層と比較し「積極的にワクチン接種したい」と回答した率が高値であった。【表9】

職業と受診の有無との関連について、会社員は「定期的を受診している」「2020年度受診した」の両者に大きな差がみられなかった（それぞれ69.3%、60.2%）が、女性かつ勤めていない層では「定期的を受診している（45.8%）」と比較して「2020年に受診している（28.0%）」と17.1%減少していることが分かった。【表10・11】

④ 今後希望するサービス

「どのようなサービスがあれば、より健康診断や人間ドックを受診しやすいと考えるか」の設問に対しては、「滞在時間が短い（169件）」が最も高く、次いで「健保・会社等から補助が受けられる（159件）」「対面でしっかり検査の結果を聞くことが出来る（109件）」となり、オンラインに関連する項目のうち「オンラインで予約が取れる」は84件、「結果説明や保健指導がオンラインで受けられる」は30件であった。【表12】結果説明に関する項目について対面とオンラインを比較した場合、全ての年代において対面が多く、また年齢による大きな差はなかった。【表13】

⑤ 希望する健診実施時期・時間

どのような時期・曜日であればより受診しやすいと考えるかの質問に対しては、希望時期・曜日ともに「いつでも良い」が最も多く（それぞれ249件、170件）【表14・15】、希望時間は「日中（9～16時）（172件）」が最も多い結果となった。【表16】

D. 考察

新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えから、健康上のリスクを高めてしまう可能性があることが懸念されており、今回のアンケートでは主に受診控えに至る理由と今後の受診行動につながる要因について調査を行った。

職業と受診の有無との関連について、女性かつ勤めていない層において「定期的を受診している」と比較して「2020年に受診した」が17.1%減少した。この層については企業や

健保等からの助成対象から外れている場合が多く本人の意思による任意での受診となることから、自己判断による受診控えが多く生じたと考えられる。この層の受診率を高めるためには、総合的な予防医療情報の周知とともに、がん検診・健診は不要不急ではないことや、病気の早期発見・早期治療につなげるために、無症状でも定期的ながん検診・健診を受診することの重要性を伝える必要性が示唆された。

受診控えの理由は、感染リスク低減に関するものが多いと予想したが、受診しなかった理由として約半数が「仕事や家事が忙しくて時間が取れない」「定期的に病院を受診している」と回答していることから、健診を受ける意義や自宅で簡便に検査を行うことが可能な郵送検診の検討・導入、また、病院受診とスクリーニングとしての健診の違いを、分かりやすく説明する必要があると考える。本研究は、「新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究」の分担研究であるため、新しい生活様式において、より受診しやすいサービスについて調査を行った。コロナ禍において、オンラインでの結果説明・保健指導の希望が多いと予測したが、対面でしっかり結果説明を聞くことが出来ることを希望する者が多かった。また、オンライン操作に慣れていると思われる若年者や労働年齢層で、オンラインでの結果説明・保健指導の希望割合が高くなると予想したが、「結果説明や保健指導がオンラインで受けられる」を選択した層について年齢による大きな差は無く、また「対面でしっかり検査の結果を聞くことが出来る」についても同様に大きな差がなかったことから、対面での結果説明・保健指導への強いニーズが示唆された。オンライン予約の要望や受診に関わる滞在時間は短くしたいが、結果は対面でしっかり聞きたいとの回答が多いことから、自分に生じる手間は少なくしたいが享受するサービスは手厚くしてほしいという利用者心理が浮かび上がる結果となった。

このことから、今後オンラインの導入を推進しながらも、対面での結果説明などのサービスは必要に応じて継続していく必要があることが示唆された。

コロナワクチン接種の躊躇要因に関する報告では、高学歴の女性、若年者、未婚、低所得、低学歴、慢性疾患無しが、コロナワクチン接種躊躇と正の相関があると報告している³⁾。今回のコロナワクチン接種の意向と受診行動の関連では、定期的に健診を受診していない層と比較し定期的に健診を受診している層の方が、ワクチン接種に積極的であることが示唆された結果となった。本研究では、先行研究のような経済状況の調査は行ってはいないが、コロナワクチン接種に積極的な受診者は、ヘルスリテラシーが高く、健康診断受診行動にもつながっていると思われる。ワクチン接種会場での健診受診勧奨の有効性が示唆されるとともに、ワクチン接種に消極的な層に対しては、定期受診の必要性を丁寧に伝えていく必要があると考える。

本研究にはいくつか限界がある。はじめに、今回の対象者は静岡県浜松市郊外地区の対象者に限定しているため、結果の一般化には限界がある。健診受診控えが無い地域あるいは健診機関もあるなど、地域的な違いが存在する可能性があるため⁴⁾、今後、より地域を拡大した研究が望まれる。また、新型コロナウイルス感染症の影響および調査結果は、調査時期によって異なる可能性がある。本研究は2021年度の冬に行われたもので、デルタ株の流行が収まりつつあった時期であることに留意する必要がある。

E. 結論

女性かつ勤めていない層は、これまで定期的に受診を行っていたにもかかわらず、2021年度受診を控えた傾向が顕著であった。受診につながるサービスの視点では、年齢を問わずオンラインに対するニーズがあることが示された一方で、結果説明や保健指導は対面で

受けたいという利用者心理が浮かび上がる結果となったことから、新たなサービスの構築を進める際は、オンライン一択ではなく、対面・非対面コミュニケーションツール双方の利益・不利益メリットを勘案する必要が示唆される結果となった。

<参考文献>

- 1) コロナ禍における人間ドック受診状況の特徴. 岡田雅仁. 人間ドック 36(2): 227, 2021
- 2) 当センターにおけるコロナ禍でのがん検診の状況. 伊藤恭子、湯川豊一、小林寛子、三間康之、前田俊彦ら. 人間ドック 36(2): 228, 2021
- 3) Vaccine Hesitancy (ワクチン躊躇) : ワクチン接種意思に与える諸要因と職場. 森晃爾、石丸知宏、小林祐一、森貴大、永田智久. 産業医学レビュー 34(3):179- 198, 2022
- 4) COVID-19 の影響による健康診断受診者年齢の割合の変化. 久里悠、川村優子、鶴岡尚志、沼本美由紀、大前由美ら. 人間ドック 36(2): 228, 2021

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表 (本研究に関わるもの)

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

【資料 1 アンケートご協力をお願い】

8. どのような時期・曜日・時間であれば、より受診しやすいと考えますか。
該当する内容を下記からお選びください。(複数選択可)

- a. 時期 1. 1~3月 2. 4~6月 3. 7~9月 4. 10~12月
 5. いつでも良い
- b. 曜日 1. 平日(月~金) 2. 土曜日 3. 日曜日・祝日
 4. いつでも良い
- c. 時間 1. 早朝(7~9時) 2. 日中(9~16時) 3. 夕方以降(16時~)
 4. いつでも良い

アンケートは以上です。記入後は1F受付までご提出ください。
なお、ご回答いただいた内容は、本調査目的以外に使用することはありません。
尚重々ご意見誠にありがとうございました。

アンケートご協力をお願い

本日は当センターにご来院頂きまして誠にありがとうございました。
当センターでは現在、厚労省の研究事業「新しい生活様式における適切な健診実施と受診のあり方」において、「新型コロナウイルス感染症に伴う健康診断の受診控えに関する調査」に関するアンケートご協力を、来院された皆さまに行っております。
アンケート項目は合計で8項目となり、おおよそ5~10分程度のお時間で回答いただける内容となります。
今後より良いサービスを提供させていただくため、どうぞ皆さまのご意見をお聞かせください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 保健事業部
聖隷予防検診センター

Ver1.0

1. あなた自身についてお聞かせください。

- a. 性別 1. 男性 2. 女性
- b. 年齢 1. 29才以下 2. 30~39才 3. 40~49才
 4. 50~59才 5. 60~69才 6. 70才以上
- c. 職業 1. 会社員(役員・公務員・自由業・パート等含) 2. 自営業
 3. 特に勤めくない 4. 学生 5. その他()

2. 新型コロナウイルスワクチン接種についてお聞かせください。

1. 積極的に接種したい 2. どちらかという接種したい
 3. どちらかという接種したくない 4. 接種したくない

3. 健康診断(※)の受診についてお伺いします。

2020年度(2020/04/01~2021/03/31)を除き、これまで定期的(1年に1回)に健康診断を受診されましたか。

※会社や市町村が行う健康診断および人間ドック・特定健康診査を指し、がん検診のみは含みません

- a. 受診していた → 1. 会社・健康保険組合が行う健康診断・人間ドック
 2. 市町村の受診券等を利用した健康診断(人間ドック・特定健康診査)
 3. 上記以外
 4. 受診内容はわからない
- b. 受診していません → 1. がん検診のみ受診していた(肺・胃・大腸・子宮・乳)
 2. なにも受けていない

4. 2020年度内に健康診断(※)を受診されましたか。

※会社や市町村が行う健康診断および人間ドック・特定健康診査を指し、がん検診のみは含みません

- a. 受診した → 1. 例年通りの時期に受診した 2. 時期をずらして受診した
 3. 2020年度に初めて受診した
→ aを選ばれた方は右ページ「5」にお進みください。
- b. 受診しなかった → 1. がん検診のみ受診した(肺・胃・大腸・子宮・乳)
 2. なにも受けていなかった
→ bを選ばれた方は右ページ「6」にお進みください。

右ページに続きます

5. 受診された健康診断の内容を教えてください。

1. 会社・健康保険組合が行う健康診断・人間ドック
 2. 市町村の受診券等を利用した健康診断(人間ドック・特定健康診査)
 3. 上記以外
 4. 受診内容はわからない
→ 「7」にお進みください。

6. 2020年度、受診されなかった理由を下記からお選びください。(複数選択可)

1. 緊急事態宣言が発令されたから
 2. 出来るだけ外出を控えたから
 3. 待合などが密状態になりそうだから
 4. 滞在時間が長いから
 5. 人間ドックでは食事で食事することになるから
 6. 医療スタッフや他の利用者からのコロナ感染に対する不安があるから
 7. コロナに閉居なく健診・医療機関に行くのが不安だから
 8. 前回の検査で異常がなかったから
 9. 毎年受ける必要がないと思うから
 10. 健診(検診)の結果を見る(聞く)のが不安だから
 11. 仕事や家事が忙しく時間がとれなかったから
 12. 定期的に病院に通院しているから
 13. 受診するのを忘れていたから
 14. 健康診断やがん検診の重要性がよく分からないから
 15. コロナ禍に起因する経済的事情により
 16. その他()

7. どのようなサービス等があれば、より健康診断や人間ドックを受診しやすいと考えますか。

該当する内容を下記からお選びください。(複数選択可)

1. 滞在時間が短い
 2. 施設内が密状態にならない
 3. 換気が徹底されている
 4. 自宅とすべての検査が可能
 5. 健康・会社等から補助が受けられる
 6. 自宅または職場から受診施設まで送迎サービスがある
 7. オンライン(インターネットなど)で予約が取れる
 8. 結果説明や保健指導がオンラインで受けられる
 9. メールやSNS等で受診忘れを促してくれる仕組みがある
 10. 対面でしっかりと検査の結果を聞くことが出来る
 11. 自宅近くのショッピングセンターや公共施設等で受けられる
 12. その他()

右ページに続きます

表 1 男女別

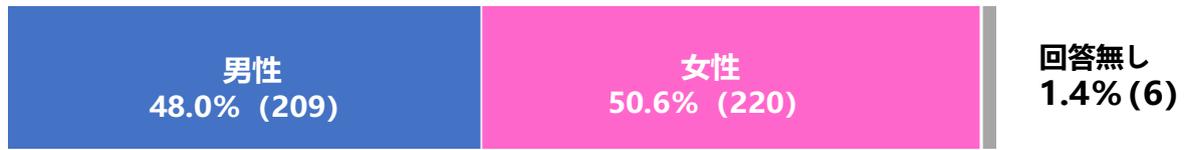


表 2 年齢・男女別

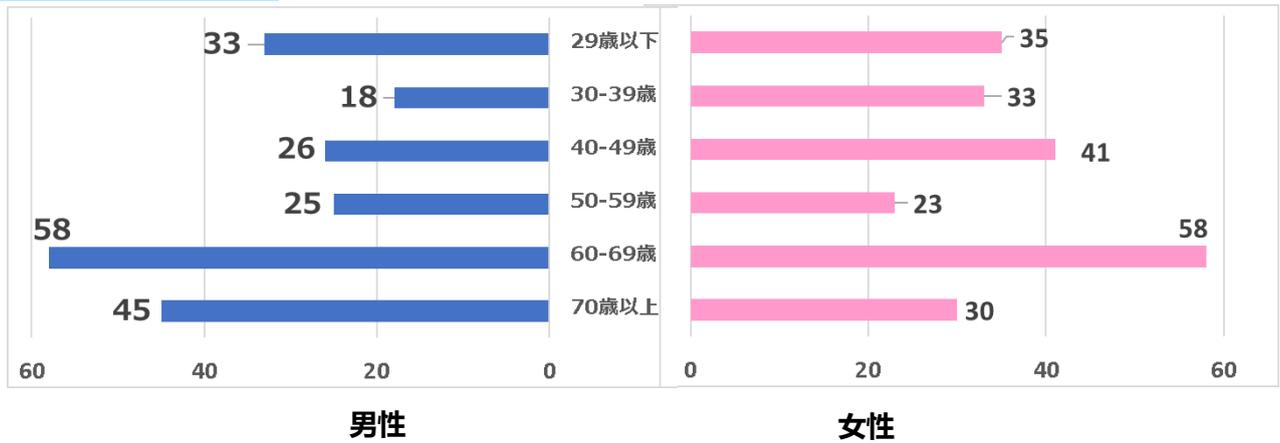


表 3 職業

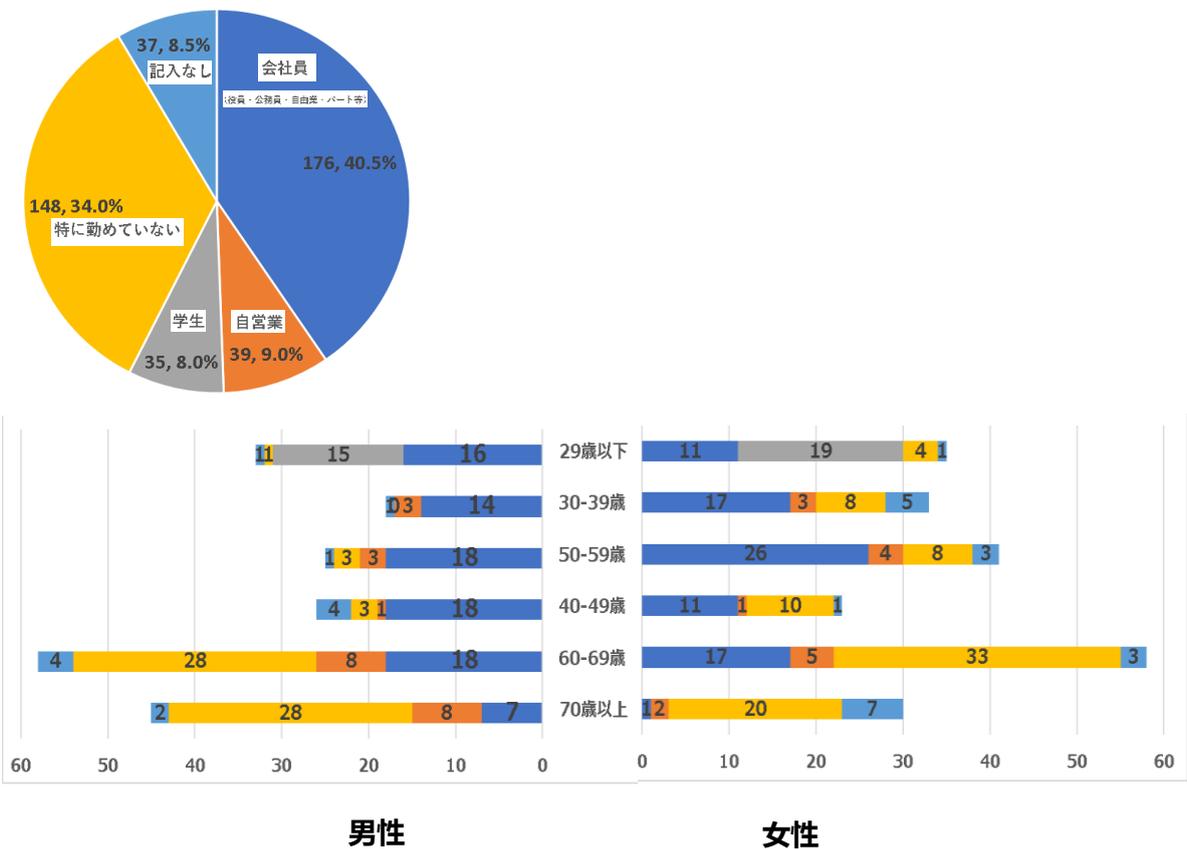


表 4 ワクチン接種に対する意向

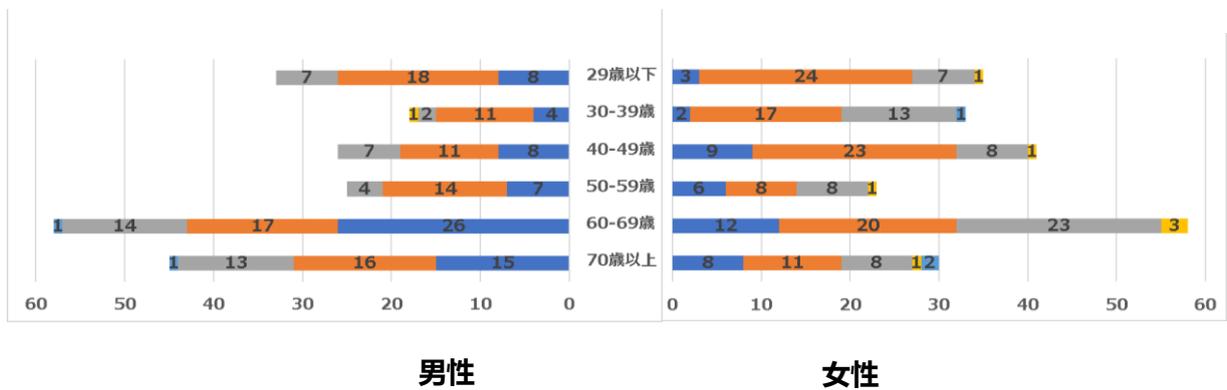
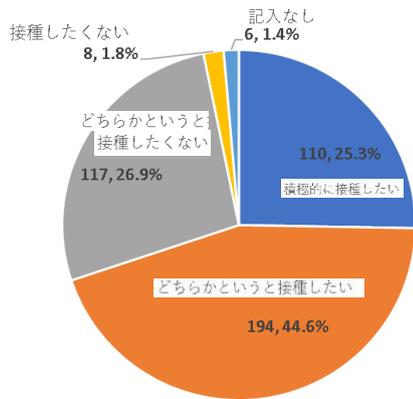


表 5 2020 年度を除き、これまで定期的（1年に1回）に健康診断を受診していたか

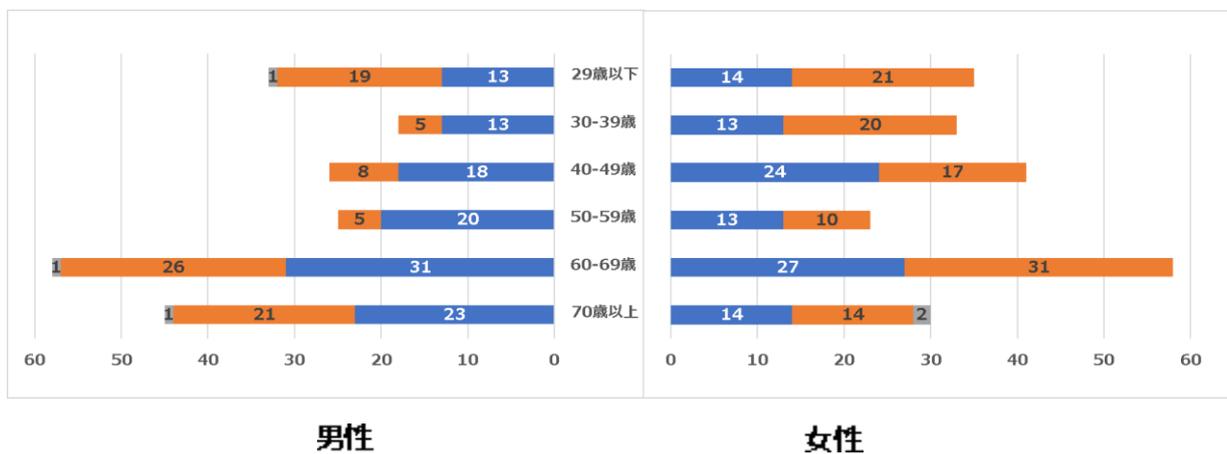
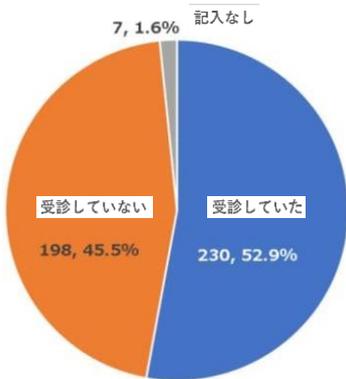


表 6 2020 年度内に健康診断を受けましたか

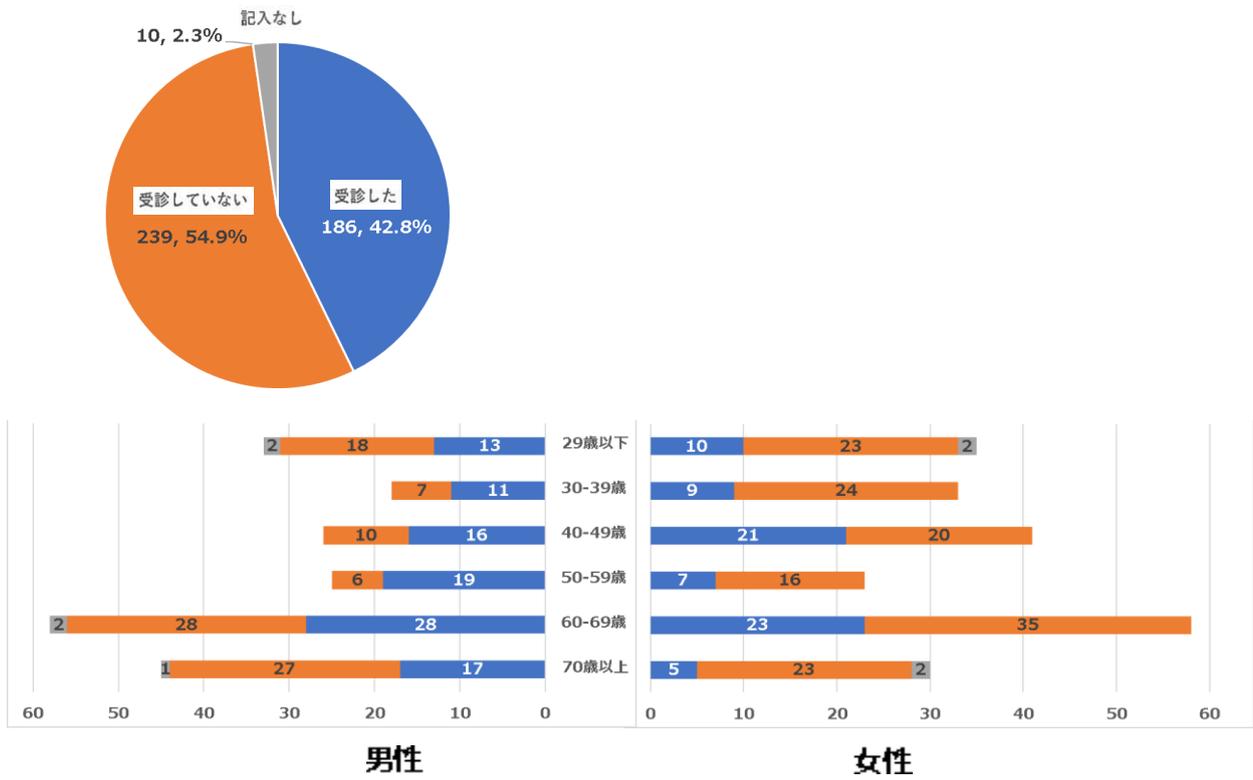


表 7 2020 年度受診した時期

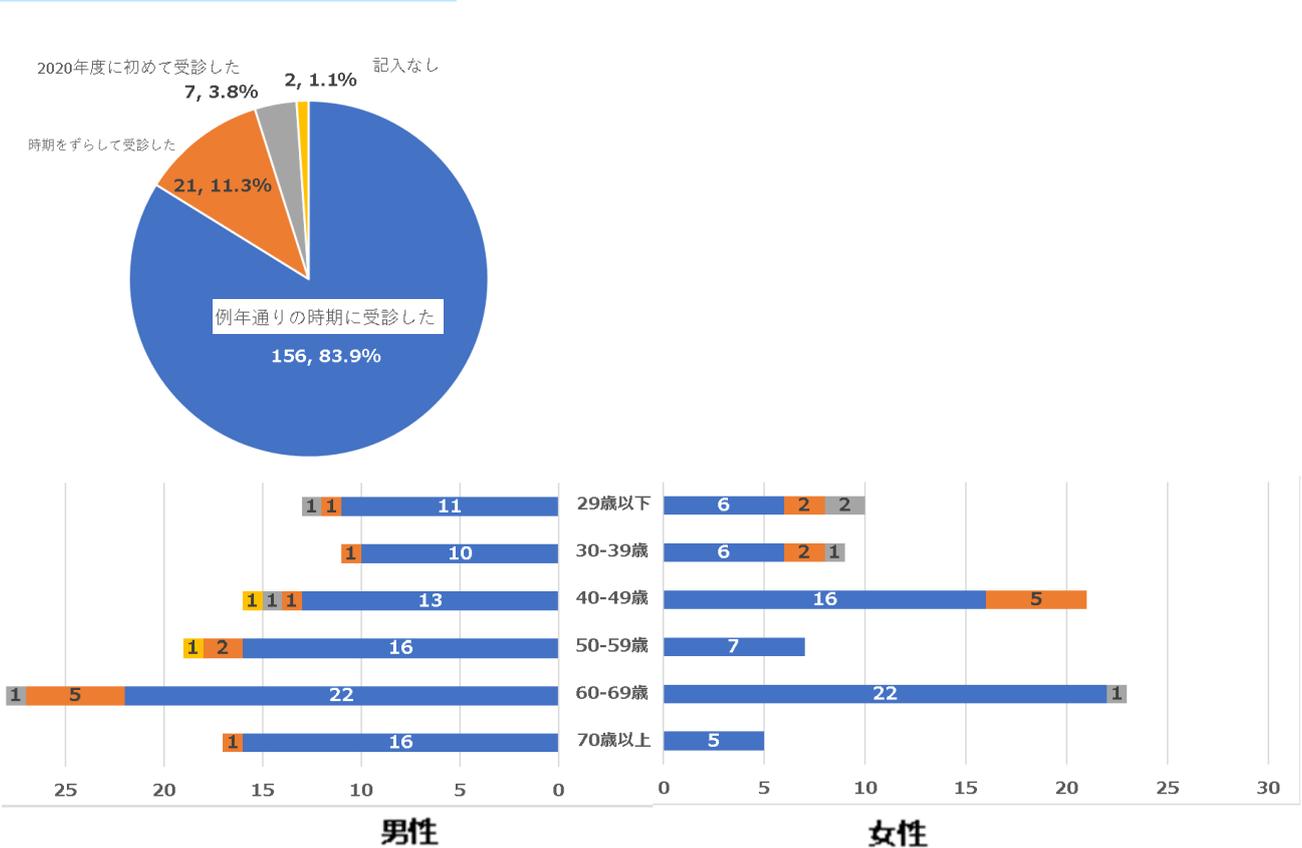


表 8 2020 年度受診しなかった理由

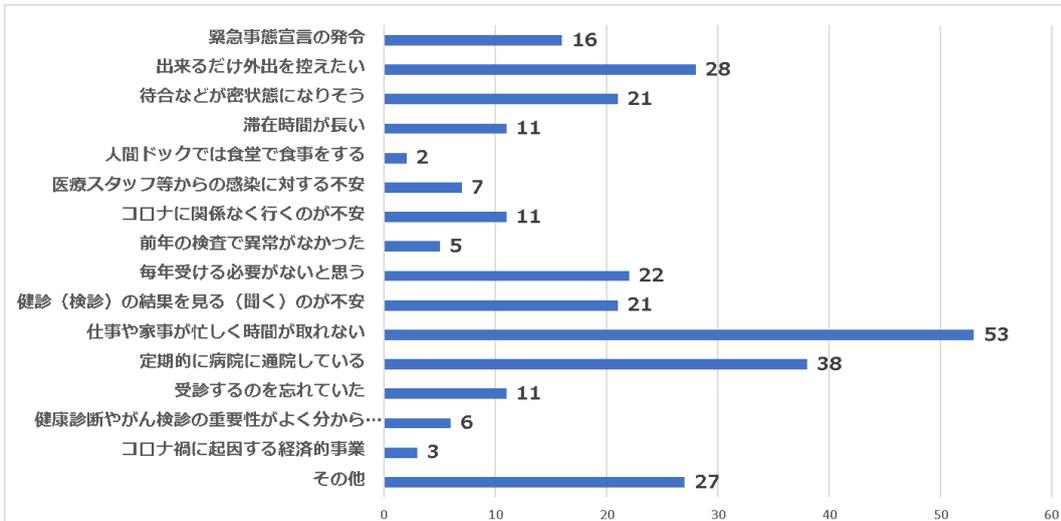


表 9 定期受診の有無とワクチン接種の意向（年齢別）

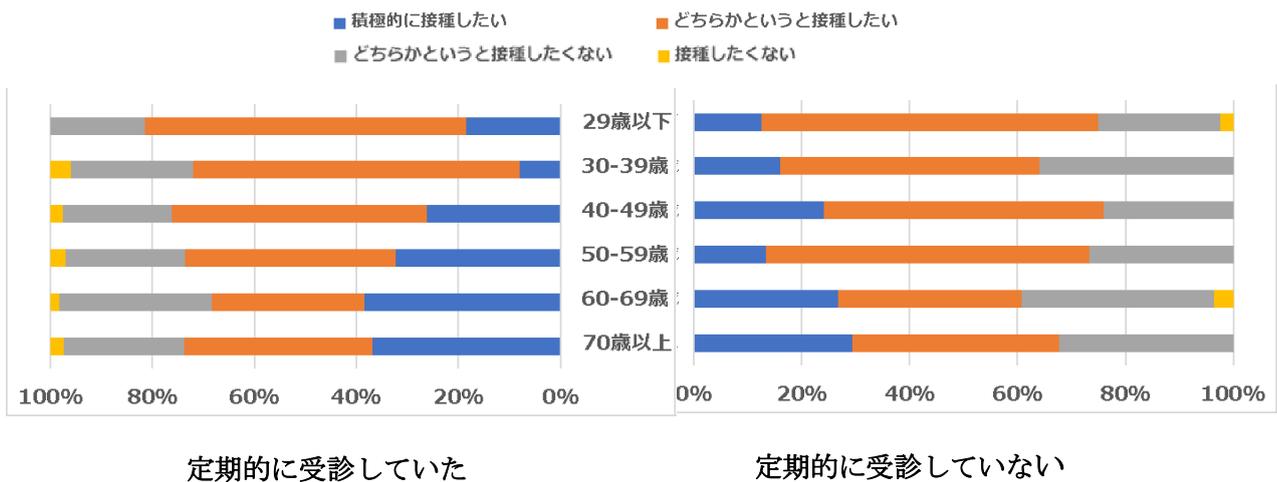


表 10 2020 年度受診と定期的な受診の比較

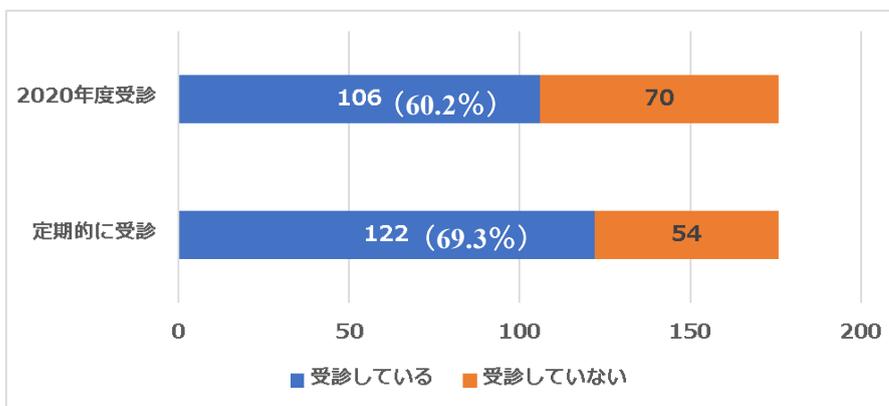


表 11 「女性でかつ特に勤めていない」層の 2020 年度受診と定期的な受診の比較

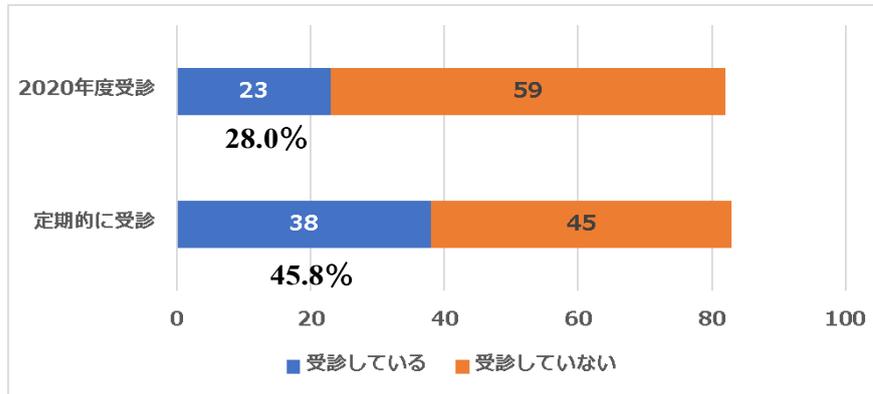


表 12 どのようなサービスがあれば、より健康診断や人間ドックを受診しやすいと考えるか

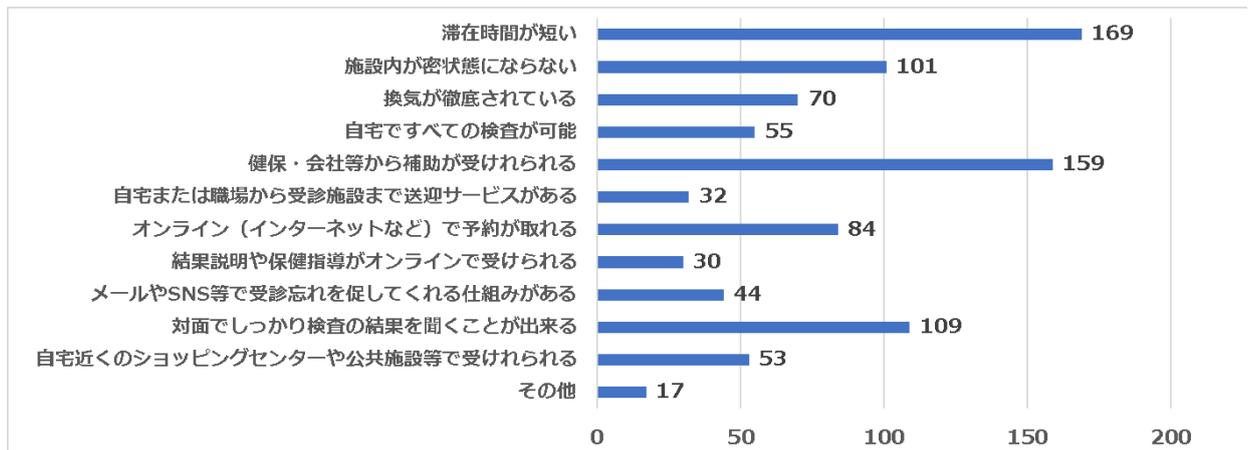


表 13 対面およびオンライン関連の回答を選択した年齢別パーセント

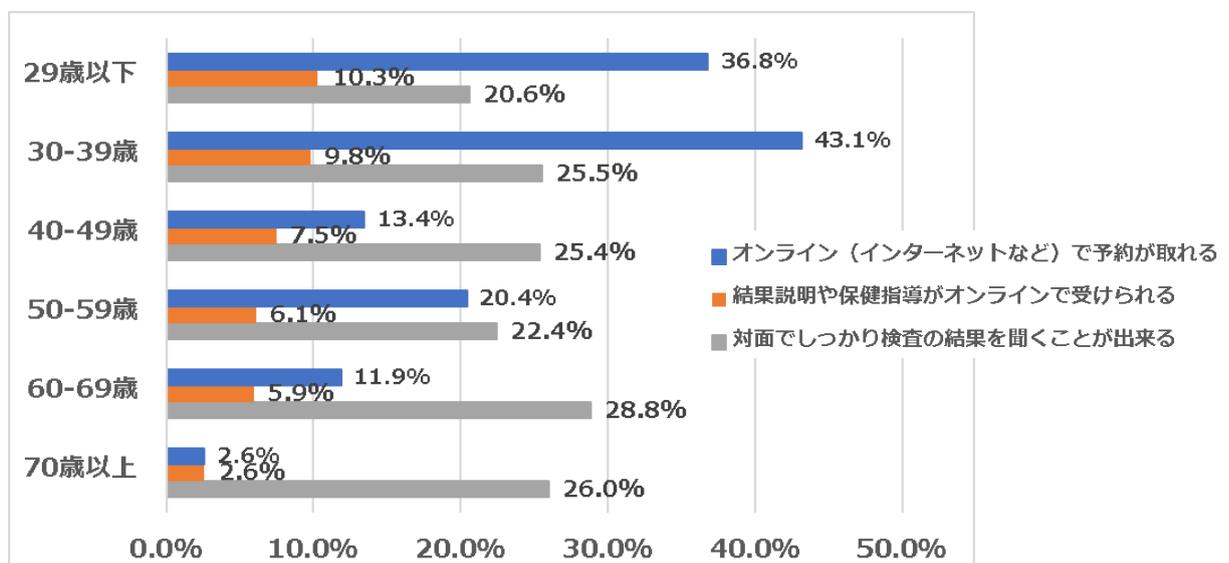


表 14 受診しやすい時

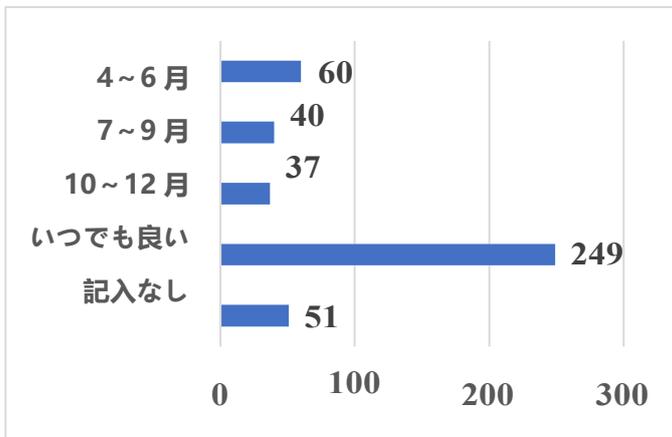


表 15 受診しやすい曜日

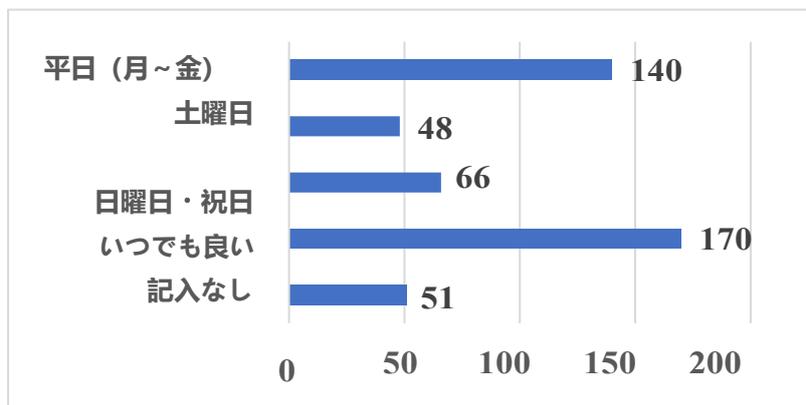


表 16 受診しやすい時間

